原因において自由な物語　五十嵐律人

振り回されまくりました！　結局すべては五十嵐先生の手のひらの上で転がされていたということなのだろうか!?　やられました〜面白かったです！
——よむよむ坂戸入西店　阿部千鶴子さん

「物語」の持つ力が強過ぎて、読み終わった後しばらく呆然としてしまった。目くるめくスピードに必死に食らいついて、脳ミソフル回転で追いつく。この本はまるでフリーランニングだ。
——精文館書店汐田橋店　天野香代さん

これは凄い！不合理な世界の束縛をものの見事に解き放つ……弁護士作家の決意と覚悟が伝わる逸品だ！
——フリーランス書店員　内田剛さん

学校に限らず、助けの届かない場所で、助けを求めて叫ぶこともできない人々を救うものは何か。直接的ではないし、必要としている人に届くかはわからない。それでも物語には何かを変える力があるし、誰かの支えになる、そう信じたくなる一冊。
——Super KaBoS 鯖江店　峯森和代さん

ミステリーと一言で括っていい作品なのだろうか……と読み終えてから、考え込んでしまいました。確かにミステリーという名前の服を着ています。色々な要素やメッセージがたくさんあって、とても一言で表せる作品ではないと思いました。ただ、多くの人に寄り添って、多くの人を助けてくれるだろう作品であることは、間違いありません。
——SerenDip明屋書店アエル店　武方美佐紀さん

何度もつらい場面が繰り返されながらも、読後感はなぜかおだやかになっていました。若い世代に是非読み通してほしい物語です。
——ブックランドフレンズ　西村友紀さん

作者のメフィスト賞受賞は有るべくしてあった。最高のミステリーがここにある。間違いない。そして、何よりも私は救われた。物語の力を信じている作家に、しかもこの先を見据え覚悟を決めている姿に。
——郁文堂書店庭瀬店　藤原郁子さん

とても面白かったです。実は、五十嵐先生の作品を読むのは初めてです。「法廷遊戯」は難しそうで私にはムリ……と思って読めませんでした物語の中での伏線回収がとても不思議な感覚でした。junaidaさんの装画も素晴らしくて発売されるのがとても楽しみです。
——フタバ図書TERA広島府中店　沖野めぐみさん

『法廷遊戯』で目をむき、『不可逆少年』でうなり、『原自物語』で絶句した。この先何度もこの興奮を味わえるかと思うと楽しみで仕方ない。五十嵐律人は可能性の塊だ。
——精文館書店中島新町店　久田かおりさん

これは、すごいミステリー作品です。いや、ミステリーというジャンルに縛り付けてはいけない衝撃の文学作品です！もうこれは完全に追っかけ作家確定です。
——紀伊國屋書店加古川店　吉田奈津子さん

すごい物語を読んでしまった！！　より物語が愛おしくなる、是非たくさんの人に手に取って欲しいです。
——ジュンク堂書店名古屋栄店　西田有里さん

あぁ……凄い。物語に対する想い、愛。小説家として、ここまで“物語”で物語に対する愛を表現する。物語の持つ力を信じて、それを物語に託した五十嵐さんのこの想いを読者へと直接手渡せる書店員として、出来ることはやりたい。仲介役として、そして物語の力を信じ物語を愛する同志として。とにかく、この愛を！！　次へと繋げたい！！　書店員として！！！
——ブックセンタージャスト大田店　島田優紀さん

ページをめくりながら、何度も「これ小説だよね……？」と確認してしまった。アプリも、それによって引き起こされる事象も、なにもかもがリアルで、今まさにこの現実世界で起きてもおかしくないのでは?と……。
——丸善津田沼店　ご担当者様

今回もミステリーとして、とても面白かったです。また、五十嵐先生が、作家としてどのような思いで小説を書いていらっしゃると分かり、これが、とても嬉しかったです
——精文館書店豊明店　近藤綾子さん

真実の破片を集めて出来上がった物語は、心の奥底にあったざわつく何かを救い出してくれるような力を感じさせてくれました。
——未来屋書店宇品店　山道ゆう子さん

序盤から一気に引き込まれて読みました。魅力的なキャラクターに導かれて、ドキドキしながら読み進めました。
——ピッグワンTSUTAYAさくら店　阿久津恵さん

弁護士が作家になったのか。はたまたストーリーテラーが弁護士になったのか。開いた扉のすぐそばから扉が現れるこの物語の奥深さをただただ体験してほしいです。
——さわや書店本店　栗澤順一さん

一歩踏み外すと不幸の鎖が何本もまとわりつく不条理な世界で、この「物語」はその鎖は外せるということに気付かせてくれる。愛について書かれているわけではないのに、作者の“世界”と“物語”への愛が伝わってくる。
——くまざわ書店南千住店　河口茜さん

難解なタイトルに尻込みしたり覚悟を決めたり……安心してください。そんな心配なく物語に引き込まれます。声を発することができない人を助けたい時、何をしますか?この本では小説家の思いがひしひしと伝わってきます。
——明林堂書店フジ西宇部店　田中由紀さん

ミステリーでありながら、物語を通して五十嵐さんの思いに触れた瞬間に胸が熱くなります。今日この本に出会えたことを嬉しく思います。
——未来屋書店大日店　石坂華月さん

この物語を読んで私が思ったことは、「物語が好きだ」ということ。なぜ、そこまで私が物語が好きなのか?という答えが本書に描かれているように感じた。私も、物語の持つ力を信じている。
——AKUSHU BOOK&BASE　石田美香さん

一言で感想を述べますと、“目眩を起こしてしまいそうだ”。物語の節々に鋭い言葉の刃を見ました。その度に心揺さぶられ、身震いしました。
——喜久屋書店倉敷店　大野さん

物語が人を救う、人を理解するのに大切な役割を担うとは！　五十嵐先生！！
　大学のサークルで出会った二人は一人は弁護士に一人は小説家になった。そして二人は物語で人を救おうとした。
——有隣堂藤沢店　佐伯敦子さん

ページをめくるたびこの本は重量をましていく……。読みたくないわけじゃない。むしろ早く読み進めたくて仕方がないのに、琢也達の痛みをビリビリ感じるたびに、紡季達の苦悩を見るたびにそのページは鉛の様に重くなっていく。突き動かされる様に読まされた。この手に感じる重みは彼らの覚悟そのものだった。
——うさぎやTSUTAYA宇都宮駅東口店　矢口留利さん

最高のミステリー、そして最愛の“物語”に出会ってしまった私の胸は今、感動で打ち震えている。
——本の森セルバBRANCH岡山店　横田かおりさん

ミステリーなのに、とても悲しい物語。原因から結果へ続く道のなんと自由なこと。それぞれの思いが複雑にからみ合い結果を生む。その結果がどうであれ、人が思うことは自由なのだ。
——うさぎやTSUTAYA作新学院前店　丸山由美子さん

読み終えた後に、しばらく放心状態に陥ってしまいました……！　それほどにも心を完全に持っていかれてしまったのです。ただ一つ言えることは物語の結末を知りたい以上に、「結末に辿り着く過程をずっと見ていたい！」こんな風に感じた作品は初めてです！！
——紀伊國屋書店福岡本店　宗岡敦子さん

それぞれの人物の物事のとらえ方が複雑、独特で一度読んだだけでは理解しきれなかったという消化不良感が残ります。でも、それが不快ではなく、もう一度挑んでみようと思わせる。それくらい読み応えのある作品です。
——TSUTAYA太子店　大道幹子さん

「原因において自由な物語」……。まさに人の取り方次第で物語っていくつにも枝分かれしえるもの。最後まで楽しませていただきました。
——文真堂書店大間々店　中村さん

いろんな価値観があってぶつかりながら、わかりあいながら生きていく。人生はパッチワークだ。
——丸善津田沼店　ご担当者様

「法廷遊戯」「不可逆少年」そして「原自物語」どれもミステリとしてすごくおもしろいのですが、毎回読みながら気付かされることや学ばせてもらうことが多いです。ありふれた人と人との繋がりが、人を殺してしまうほどの凶器になる怖さと、ただ物語を愛する純粋な気持ちに心洗われるこの感情の振り幅を何と言えばいいのでしょう。
——三省堂書店名古屋本店　田中佳歩さん

弁護士作家じゃないとこんな風に考えることは出来ないのかもしれない。勢いのある語りについていかないと置いていかれるようなスピード感も楽しめて良かった。略し方もカッコいいですねー。原自物語！！浸透させたい。
——コメリ書房鈴鹿店　森田洋子さん

五十嵐律人は3作品目にして「小説」の存在意義、強みを的確に表現した。彼の作品の芯にあるのは“人間の尊厳”だ。
——紀伊國屋書店仙台店　齊藤一弥さん

五十嵐先生の「想い」に胸打たれました。読むのが少ししんどかったけれど、読むべき本でした。
——喜久屋書店豊岡店　中村美穂さん

紐解く面白さに引き込まれ、のめりこむような読書体験。本書の骨格、構成、この着地に完全にシビれます。絶品と呼ばれるにふさわしい作品です！！
——柏の葉蔦屋書店　高松さん

最初に読んだ時は謎解きに魅了され、再読した時はいじめ問題に苦しむ心情が胸にせまってきて涙なしには読めませんでした。読み返してこんなに印象の変わった小説は初めてです。
——平安堂若槻店　岩村さん

一冊の本が、犯罪を防ぎ、救う。大げさではなく、そんな可能性を期待してしまう。気付くと、言葉たちが物語がそっと寄り添っていました。ありきたりな言葉で、申し訳ないですが、ただ、ただ面白かった。です。
——明文堂書店金沢野々市店　瀬利典子さん

紡季とともに謎を解いていくのはとても面白かった。続きを読みたい、謎を解明したいと思ってどんどん読む。読み終わった心に残っているのは、痛みを痛みとして伝える物語。「物語」に対する溢れる愛を感じた。
——宮脇書店ゆめモール下関店　吉井めぐみさん

おもしろかった……すごく。先が気になって気になって。やっぱり五十嵐律人はすごい
——明屋書店厚狭店　小椋さつきさん

小説を読んでいて、足元がゆらぐ経験、というのは今までにもありました。白だと思っていたものが黒だったことがわかった時の驚きはそのまま読書の喜びでもあるのですが、今回は今まで経験したことのない色の変わり方を体験させてもらいました。凄い作品が生まれた瞬間に立ち会うことができて幸せです！
——成田本店みなと高台店　櫻井美怜さん

いよいよ、認めざるを得なくなってしまった。五十嵐律人は、凄い。こんな作家さんにデビュー作から接することができて、書店員冥利に尽きる。
——旭屋書店池袋店　磯部ゆきえさん

ごめんなさい。前作『不可逆少年』と前々作『法廷遊戯』面白いと口コミがあったけれども未読でした。三度目の正直？　今からでも作家五十嵐律人先生の名前を覚えて損はないです！
——紀伊國屋書店笹塚店　小川由起さん

何度も「ちょっと待って！」と翻弄されながら読み進めました。一人一人の中に物語があるということに気付かされた。
——東京旭屋書店新越谷店　猪股宏美さん

世代を問わず様々な読者に届けたいと思いました。法的立場から描かれる事実はどの人物に肩入れすることなく公平でこれを読んで何を受け取るかは受け手にゆだねられています。ある種、心のワクチンのような作品だと思いました。
——有隣堂町田モディ店　原田明美さん

人を裁くのは法律だけじゃないのかもしれない。誰かにとっての正しさは、誰かにとっての間違いだったりもする。誰かを抹消してしまうことなんて、とても容易い。そんな危うさの中で私たちは生きている。だから見誤らないように。信じ込まないように。自戒を込めて読んだ。サラッと読めそうで、引っかかる…そんな一冊でした。
——水嶋書房くずは駅店　永嶋さん

これは弁護士であり作家である五十嵐先生だからこそかけた作品。ラスト一行に胸が熱くなりました。次作も楽しみにしています。
——BOOKSえみたすピアゴ植田店　清野里美さん

こんなに謎を秘め、メッセージが込められ、可能性が広がる、縦横無尽に自由なミステリーはあっただろうか。プロットという言葉が出てくるたびに、ぞくぞくした。
——うさぎやTSUTAYA 矢板店　山田恵理子さん

点と点がつながるミステリーとして、今までにない爽快感を覚え、誰がどうしてこうなったのかが解き明かされていくのが早く知りたいようで、もう少し自分で想像していたいような作品でした。まさに“先入観なく読んで欲しい”作品で、広めたいと思いました。そして、結末を知った上でまた読みたいと思います。
——くまざわ書店新潟亀田店　今井美樹さん

謎がどのように解決されていくのか気になって一気読みしました。物語を紡ぐことにより救えるものがあるという五十嵐先生の熱い思いが伝わる手も感動する作品でした。4作目も楽しみにしております。
——紀伊國屋書店熊本光の森店　富田智佳子さん

謎が解けていくにつれ見えてくる悲しい真実に胸を締め付けられながらも、“物語”のもつ力や可能性を改めて感じ、書店員として心が洗われるようでした！
——文苑堂書店新湊店　鳥山さん

どこへ向かっていくのだろうと思っていたはずが、すっかり波にのまれて、ラストまで運ばれました！
——文真堂書店ビバモール本庄店　山本智子さん

通勤時、電車中で少しずつ読んでいたのですが、第四章にいたり「あーそういう、あー大変だ、今夜は眠れないぞ」となりまして、そこから一気に読ませて頂きました。早く、早く続きが読みたいと思わせる上質なミステリーであり、物語には人の命を心を救う力があるんだと強くうったえてくる物語。自分が物語に救われた時のことを思い出し今一度救ってもらったように思いました。
——くまざわ書店名古屋南店　大塚さん

「原自物語」を読み、物語は誰かの何かを動かすきっかけになるということを再認識しました。作家さんの多くは、「誰かが書かねば」を自ら背負い書いて下さっているのだと頭の下がる思いです。
——TSUTAYA西宝店　楠木さん

これはミステリなのか懺悔なのか。どちらにせよ、今この本に出会えて本当によかったです。五十嵐律人、すごい作家です……。
——未来屋書店碑文谷店　福原夏菜美さん

物語にかける情熱がまっすぐに届いて心が震えました。「原自物語」に救われる人は多いと思います。
——明文堂書店氷見店　前花さん

真相を知りたくて一気読み。語りも構成も秀逸だと思った。主人公や登場人物たちのキャラクターもみんな良かった。
——うさぎや自治医大店　鈴木早苗さん

真実も正義もたった一つのものではなくて、その天秤は時としてふれたりゆれ動く。でもその中で信念を持って行動し続ける人物がとてもまぶしくて、ラストに向けて祈るように読みました。
——丸善ヒルズウォーク徳重店　熊谷由佳さん

こんなに何枚も何枚も付せんを貼りながら読んだミステリは初めてです。この物語に込められた魂の叫びのようなものが痛いほど心に突き刺さってきて、本が声を上げているように感じました。
——勝木書店新二の宮店　樋口麻衣さん

自殺か事故か殺人か。その瞬間が描かれないプロローグから真相までの途方もない道のりを地に足の着いた描写に導かれ、物語に引き込まれていった。“本書く”ミステリの歴史に新たな1ページが刻まれた。
——さわや書店イオンタウン釜石店　坂嶋竜さん

「原自物語」言いえて妙です。今後に期待してます。
——未来屋書店名西店　福井由美子さん

『法廷遊戯』であまりの面白さに驚き、『不可逆少年』では取り返しのつかない人生を生きる事について深く考えさせられ、今回の『原因において自由な物語』では作者の物語への愛情も深く感じました。それぞれ全く違う物語で、全て飛び抜けて面白い。少し世界が優しく見えるようになる。そんな読書体験でした。
——岡本書店恵庭店　山口榛菜さん

苦悩する若者に注ぐ法曹としての眼差しと、物語の力を信じて紡ぐ創作者の覚悟が、ここに最高の形で結実した。
——ときわ書房本店　宇田川拓也さん

この本は物語に対するラブレターだ。読みながら、何度も「えっ?ちょっと待って……」と驚いて、早く続きが読みたいのに頭をフル回転させても立ち止まらされる。そんなふうに読み進んだ先に待っていたのは[物語]に対する溢れる愛だった。
——紀伊國屋書店横浜店　川俣めぐみさん

まるで法廷で傍聴しているかのような気分になった。これは五十嵐律人さんにしかできないと思う。途中で読むのをやめると、夜寝れなくなりそうだった。
——有隣堂グランデュオ蒲田店　古藤やすらさん

怖いもの見たさから、目がはなせなくなりました。とても大きな答えを提示された気がして、一度読んだだけでは理解できそうにありません。何度も読んでみたいと思います。
——文信堂書店長岡店　實山美穂さん

いつの間にか撒かれていた伏線が丁寧に、丁寧に回収され最後まで目が離せませんでした。法律の専門家でもある著者が馴染みのない一般の人々にも「法律のことをよく知ってほしい」といったような力みが消え、より純粋に楽しんで考えてほしいと、書きたかった作品なのではないかと感じました。救いにつながるリーガル+ストーリーのハイブリッド作品。
——明林堂書店南宮崎店　河野邦広さん

フリーランニングというあまりなじみのない要素もあり、様々な要因が苦悩が絡まって編まれた物語は、今まで読んだことのないものでした。
——興文堂iCITY店　黒田陽子さん

弁護士の著者がなぜ物語を書くのか、その思いがちりばめられた心の奥の深い思いにふれ、心が震えたミステリーとしてひきこまれるのはもちろんのこと、著者の心に流れる深く熱い思いが心に刻まれた。
——ジュンク堂書店滋賀草津店　山中真理さん

主人公と同様、この謎を解かなければと意気込んで読み進めたが、張り巡らされた登場人物たちそれぞれの原因において自由な行為に翻弄され、気づけばあっという間に読破。一歩前に進もうとする主人公の姿に、「物語の可能性」を大いに感じる作品。
——明文堂書店TSUTAYAレイクタウン　三村さん

まだまだ色々立ち向かっていかないといけないのだろうけどこの物語のみんなが、そしてこの物語を読んだ人が、前を向いて生きていけますように。紡季はこれからどんな物語を書くのかなぁ……。
——フタバ図書TERAイオンモール福岡店　増本美佐さん

面白かった！！　ストーリー展開が鮮やかで物語に引き込まれた。物語が伝える力を強く感じたし、そこに私たちが物語を読む意味があると思う。
——岩瀬書店八木田店プラスゲオ　樋口ゆかりさん

結果だけにしばられるな！　目を背けるな！　痛みを感じろ！　この小説は必ずひとつのきっかけになる。
——未来屋書店高の原店　元尾和世さん

むちゃくちゃ面白い！！そして読めて良かった！！法律用語は難しいけれどミステリーとしての面白さにぐいぐい引き込まれて鮮やかな場面展開に翻弄されそうになりながら、楽しみつつも必死に読み進めました。たどり着いて見えたのは、現役弁護士である著者が胸にいただいているであろう、物語を書き続ける理由と強い覚悟でした。もう一度言います。読めて良かった！！！
——三洋堂書店新開橋店　山口智子さん

「うわー、すごかった」と読み終えたあと、そばにいた母に思わず言ってしまいました。最後の展開に鳥肌が立ちました。次回作が待ち遠しくて楽しみな作家さんがまた一人増えました！！
——興文堂平田店　名和真理子さん

物語の可能性が限りなく広がっていく……そんな希望の持てる本作に出逢えたことに幸せを感じた。
——明林堂書店浮之城店　大塚亮一さん

え、ナニコレ、めっちゃ面白かったです！どんどん面白くなっている五十嵐先生の次回作も楽しみです。
——精文館書店新豊田店　石川さん

理不尽な社会の中で生きながら、不自由に縛られた若者たちを法的アプローチから導きながらも救いきれぬ部分を、物語の持つ力が温かく包み込み中和している。
——くまざわ書店錦糸町店　阿久津武信さん

『法廷遊戯』も『不可逆少年』も話題の作家さんですが初読みでした。ミステリとしての面白さはもちろん、それ以上に人としての自分の立ち位置を改めて考えさせられる物語でした。物語には力がある。私もそう信じています。
——明林堂書店大分本店　多田由美子さん

おそろしいアクロバティックを見せてもらいました！　さすがメフィスト賞作家さん！！　単純にミステリとか青春とかくくりにはまり切らない、読んだ人の力にきっとなる。そういう上を向くパワーを感じる作品でした。
——紀伊國屋書店広島店　藤井美樹さん

冒頭のシーンの衝撃から二転三転、解決への伏線かと思ったら裏切られ、五十嵐先生は法曹界とは別世界に居住する脳をもう1つお持ちなのでは?と疑うほどです。「“原自”すごいよ、読んだ?」今からそんな声が聞こえてきそうです。
——水嶋書房くずはモール店　和田章子さん

これは、物語の可能性を信じる著者の物語への愛の証の物語。
——山下書店世田谷店　漆原香織さん

いやーよく出来てます。これが私の五十嵐律人初作品なんですが、小説の中にも作者の若々しさが感じられて、これからが楽しみな作家さんだなと思いました。弁護士として想い護る想護さんとお話を紡いでいく紡季さん、この名前にも優しさを感じますこんな人たちがいる世の中になってほしいですね。
——水嶋書房くずは駅店 枡田愛さん

82人の書店員さんが推薦!!

KODANSHA

Illustration / junaida